

### Ⅲ. 教育部会報告（部会長 渡邊 俊輔）

#### 1. 大淀川の学習・体験の推進事業 ～大淀川と友達になろう～を開催しました

平成28年度宮崎市市民活動支援補助金の助成団体に採択され、宮崎市環境保全課との協働事業として、8月から毎月第一日曜日に開催しました。対象は宮崎市住民（幼稚園児、保育園児、小学生などの親子）で、子ども109名、大人88名の計197名（申込人数：子ども239名・大人188名 計427名）に参加いただきました。

8月：高松橋から大淀川の流れや水辺の様子を観察し、堤防で採取した野草を使ってミニ地球を作った。  
(34名、申込数36名)



9月：大淀川河原の水辺で手綱を使って魚や水生昆虫を捕まえて観察した。また、宮崎内水面漁業協同組合との共催によりうなぎの放流と掴み取りも行った。  
(74名、申込数84名)



10月：大淀川でカヌーを体験し、水辺のごみを拾った。  
(28名、申込数158名)  
(大淀川でカヌーを体験し、水辺のごみを拾った。：カヌー体験とゴミ拾いということで非常に人気のあるメニューとなっている。)



11月：宮崎市市役所下を発着とし、クイズを解きながら高松橋～鉄道橋の河原と堤防のポイントを巡り、  
ごみを拾った。  
(6名、申込数29名)



12月：南谷忠志先生を講師にお招きし、大淀川の河原で植物観察して希少植物を探し、生育している植物について学習した。  
(16名、申込数38名)



1月：宮崎市内の特徴ある5つの川をバスで巡って河川環境を採点した。  
(17名、申込数34名)



2月：クリップやコインを使った3種類の水の競技で水の特性を学んだ。

(22名、申込数48名)



計197名、申込数427名

## 評価

- ・ボランティアなどの協力により天満橋下の小川が再生され、「ガサガサ体験」等、川で遊び楽しむ体験の場ができた。
- ・国土交通省の協力により、雨天時の会場を確保できるようになった。

## 今後の課題

- ・参加者が少なかった事業に、より多くの人に参加してもらうにはどうすればいいか。